

## 一生勉強、一生青春

—将来に向けて必要な力とは何かを考えよう—

林 明夫  
( 経済同友会 会員 )  
( www.kairin.co.jp )

### 1. はじめに—自己紹介—

### 2. 仕事の意義—何のために働くのか—

(1) お客様のお役に立つため。

- ・ お客様のお役に立つとは、お客様の問題解決のお役に立つこと。

(2) お客様のお役に立つことを通して、社会のお役に立つため。

- ・ 社会のお役に立つとは、社会の問題解決のお役に立つこと。

(3) お客様や社会のお役に立つことで、収入を得るため。

- ・ 収入は生活できるだけの収入が得られることが望ましい。

(4) そのような仕事を通して自己実現するため、充実した毎日、充実した人生を送るため。

(5) よく生きるため。

### 3. 将来に向けて必要な能力とは何か。

(1) 「知識基盤社会」に対応するために必要なのは

→ 「知識・情報・技術を相互作用的に用いる能力」

＊ 数理的思考能力

(2) 「グローバル社会」に対応するために必要なのは

→ 「多様な集団で交流する能力」

(3) 「課題の多い社会」に対応するために必要なのは

→ 「自律的に活動する能力」

4. 中学時代、学生時代に全教科や教科外の活動で、身につけておくべき能力とは何か。

(1) 躰(しつけ)

- ①美しい立居振舞い(たちいふるまい)
- ②敬語表現を含む言葉遣い(ことばづかい)

(2) 5S

- ①整理
- ②整頓
- ③清掃
- ④清潔
- ⑤躰

(3) 学び方を学ぶ能力

- ①「理解」
- ②「定着」
- ③「応用」

(4) 読書による思慮深さ

- ①本はゆっくり何回も読む(6回くらい読む)
- ②「書き抜き読書ノート」

(5) 新聞を読んで自分で考える力

- ①批判的思考能力(ひはんてきしこうのうりょく)
- ②「スクラップブックー新聞切り抜き帳ー」

(6) 学校で勉強する全教科の内容

- ①中学校や高校など学校の勉強はすべて役に立つ。  
進学する学校ですべて役に立つ。  
社会に出てもすべて役に立つ。
- ②中学校や高校などの教科書や資料集は、大切に保存し何回も読み直そう。

(7) 体力と気力、ものごとをやり抜く力

(8) 高い志(こころざし)、使命観(しめいかん)

- ①目的をもってものごとに取り組むこと。
- ②手順(順序)を考えてものごとに取り組むこと。

(9) 自分のよさを自分の力で見つけ、自分の力で伸ばすこと。

- ①自分以外の他の人のよさを見つけること。
- ②クラス、学校、墨田、東京、日本、アジア、地球のよさを見つけること。

## 5. おわりにー私の好きなことばー

(1) 中学校時代の友達是一生の友達。中学校時代の先生是一生の恩師。

ー会った人は、皆友達ー

(2) ブルドッグ魂

ー食いついたら離すなー

(3) 練習で泣いて、試合で笑え

(4) 一所懸命

ー一つの所で命を懸けるくらい熱心に取り組もうー

(5) 一生勉強、一生青春

## 6. ディスカッション・意見交換

(1) 以上が私からの問題提起です。

(2) 御清聴を感謝申し上げます。

(3) あとは生徒の皆様とディスカッション、意見交換を致します。

よろしくお願ひ致します。

感謝